

おきたま 社会教育情報

Vol. 132 令和3年7月号

楽しもう! 伝えよう! “うるげる”紙芝居スキルUP講座開催

7月16日(金)南陽市交流プラザ蔵楽(くらら)を会場に、第1回公民館・コミュニティセンター・社会教育関係職員等研修会を行いました。庄内街頭紙芝居実践研究会会長の米田佐之助(よねさん)氏を講師にお招きし、実演を通して笑いの絶えない講演会となりました。また年齢にあった絵本の紹介や読み聞かせもあり学びの多い内容でした。参加者からは「米田さんの語り口調、時折はさむウィットやちょっとためになる話題、子ども達への願いなどが込められていて、話に引き込まれました。特に『方言を大事にしたい』との思いが伝わってきました。」「大人になってからの紙芝居を久しぶりに拝見しました。デジタルがあふれる中、紙や木の枠や読み手とのコミュニケーションなど温かい雰囲気にはすばらしさを再認識しました。」等の感想をいただきました。



コロナ禍で地域のお祭りやイベントが中止となり、直接的な人と人とのつながりが難しく、気持ち的にも晴れない日々が続いています。米田先生の笑いあふれる実演を通して、元気をいただき、少しでもスキルを向上させることで、参加された方々から置賜一円に元気をもたらせることができれば幸いです。



読育推進ネットワーク研修会を開催しました! 想像力を育もう! ~こどもと一緒に絵本の世界へ~

7月8日(木)赤湯公民館(えくぼプラザ)を会場に、読育推進ネットワーク研修会を開催しました。前半は、白鷹町の「白たか子どもの本研究会」の会長である小出稔氏より、「読書活動と伝統行事や郷土の暮らし」について50年に渡る活動の事例発表をしていただきました。その後、渡邊裕子氏(保育園長/紙ふうせんの会代表)より、「想像力を育もう! ~こどもと一緒に絵本の世界へ~」という演題で実演を交えた講話をいただきました。読み聞かせの後、子どもは一人ひとりの答えを持っているのだから感想は聞かない、読みっぱなしでよい、そうすることで想像力(非認知能力)が育っていくことなどを教えてい



<小出 稔氏>



<渡邊 裕子氏>

いただきました。後半は演習・ワークショップで「わたしの推し1冊!」の紹介と情報交換をしました。コロナ禍で様々な制限があり、思うような活動ができない、ということもあったようですが、一人ひとりが今できることは何か、どんなことならできるのかグループで交流することで、「よし! また明日から頑張ろう!」という前向きな気持ちと、意欲の高まりを感じた研修会となりました。

置賜地区スポーツ推進委員初任者研修会

7月10日(土)高畠町中央公民館を会場に置賜地区スポーツ推進委員初任者研修会が開催されました。初めに、置賜地区スポーツ推進委員協議会会長 後藤一也氏より「初任者研修の意義」についてお話していただきました。その後、南陽市スポーツ推進委員会 長谷部嘉也氏より「スポーツ推進委員の果たす役割について」、米沢市スポーツ推進委員会会長 須藤正彦氏より「TOKYO2020の取り組みから学ぶスポーツ推進委員活動のヒント」というテーマで講話をいただきました。スポーツ推進委員の職務については、スポーツ基本法に記載されており、新たに「連絡調整」という役割が加わりました。スポーツ推進のための事業の実施主体と地域住民との調整を図り、よりよい事業の実施となるように働きかけをしていきます。

初任者研修の意義

スポーツ推進委員の初任者研修は、スポーツ基本法の施行によりスポーツ推進委員に「スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整等の職務」が加わったこと、また、スポーツ基本計画でも新たな役割に対応した研修機会の充実が強調されていることなど、スポーツ振興に関する法整備や新しい施策が打ち出され、**地域におけるスポーツ推進委員の役割がより重要**となり、**資質の向上がさらに求められている**状況を踏まえて、開催するものです。スポーツ推進委員にとって**喫緊の課題**となっている「スポーツ推進委員の資質と役割」「連絡調整の具体的内容」等について研修で理解を深めてください。

スポーツの最大の魅力は、多くの人を動かすチカラ

「おきぼら地域クリエイター」第1回ファシリテーター会議開催

7月22日(木・祝)、旧長井小学校第一校舎を会場に令和3年度次世代の地域づくり中核人材事業「おきぼら地域クリエイター」の第1回ファシリテーター会議が行われました。「おきぼら地域クリエイター」は、置賜地区の高校生を対象とし、自分たちの住む地域を元気にする「地域づくり活動」に取り組んでもらおうという事業です。その高校生のサポート、アドバイザーを務めていただくのが、現在置賜地区を中心に様々な地域活動に取り組んでいる、若き5名のファシリテーターの皆さんです。会議では、それぞれの地域づくり活動に対する想いを発表し合い、これからの時代を担っていく高校生の参画者に、どのような活動に取り組んでもらいたいか熱い議論が交わされました。11月上旬の企画実施を目指して、参画者の高校生がやりたいことを実現できるよう、様々な面でお手伝いをよろしくお願いたします。

令和3年度ファシリテーターの皆さん

青年団体「たかまる。」代表	大地 浩太郎 氏
東北公益文科大学2年	武田 育実 氏
Tabetai House Omiya 経営者	吉田 悠斗 氏
長井まちづくりNPOセンター	鈴木 麻恵 氏
人と地域をつなぐ事業第5期生	会沢 哲也 氏



※ファシリテーターとは「後押しをする」「促す」役割を担う者という意味です。

社会教育施設を訪ねて

おじゃましました

7月21日(水)に米沢市の上郷コミュニティセンターと窪田コミュニティセンターを訪問させていただきました。どちらも最近建て替えられた新しい施設で防災機能を持ち合わせ、道路を挟んで小学校と隣接しています。自然災害に備えることや地域と学校の連携・協働を進めることなど近年の課題に対応した施設となりました。



昨年度、今年度とコロナ禍のためにこれまで通りの事業の実施は難しいということでしたが、できる範囲で工夫しながら実施しているということでした。館長さんや職員の方々の話からコミュニティセンターは地区の賑わいや地区民のつながりを作るために必要な施設であることを感じさせられました。



※本情報紙の本文は、UD(ユニバーサルデザイン)デジタル教科書体を使用しております。

【お問合せ先：置賜教育事務所社会教育課 Tel. 0238(88)8242】